

Ⅲ 学校教育

1 令和7年度 学校教育の基本方針と重点施策 「強く生き抜く力の育成」～学びの改革を通して～

(1) 学校教育の目標

将来のまちづくりを担う幼児・児童・生徒が、未来の夢と希望を実現できるように、震災からの復興に励む郷土を愛する心を涵養し、基礎的・基本的な知識・技能とこれらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力等をはぐくむことで、徳・知・体の調和のとれた「強く生き抜く力」の育成を図る。

(2) 学校教育の基本方針

- ア 家庭・地域との連携・協働による学校経営の充実
- イ 相手を思いやる精神を根幹に道徳性を養い豊かな心をはぐくむ教育の充実
- ウ 確かな学力を保障する教育の充実
- エ 健やかな心身を育成する教育の充実
- オ 郷土を大切に思う心の醸成

(3) 学校教育充実のための重点施策

ア いのちの教育の推進

防災教育を核としながら教育活動全体を通して行う「いのちの教育」の充実、地震津波・洪水・土砂災害に対応するための取組、「防災教育の手引き」を活用した計画的な防災授業の確実な実施

イ 確かな学力の育成

資質・能力（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）の育成、主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、ICTを活用した教育の推進、小・中学校が連携した指導方法の工夫・改善、研修会及び校内研究の充実、言語活動の充実、主任層が中心となった学力育成の推進、諸調査の分析・活用、意欲的に学ぶ機会の保障

ウ 生徒指導の充実とこころのサポートの推進

生徒指導主事を中心とした組織的対応による未然防止・早期発見・早期対応、不登校児童生徒支援の充実、教育活動全体を通じた自己指導能力の育成、いじめ防止対策の総合的かつ効果的な推進、SC・SSW及び教育相談員等の活用、かまいし絆会議を中心とした主体性や行動力の育成、計画的・組織的・開発的な生徒指導体制の強化と他機関との連携、きめ細かな教育相談と支援のための学校体制の充実、日常的なこころのサポート体制の充実、一人一台端末の活用による心や体調の変化の早期発見

エ 家庭・地域と連携・協働した教育活動の推進

家庭・地域との信頼関係づくり、コミュニティ・スクールの活用・実践と学校評価の実施、地域に目を向けた活動・取組の推奨、地域理解と地域貢献

オ ICT教育・国際理解教室の推進

授業を主とした教育活動及び不登校支援等へのICT機器の積極的な活用、情報活用能力の育成、外国語を通じて人とつながるためのコミュニケーション能力の育成

カ 豊かな心の育成

学校教育活動全体を通じた「思いやりの心」「感謝の心」「奉仕の心」や「互いの良さや違いを認め合う心」の育成、規範意識・公德心の向上、年間指導計画に基づいた教科道徳の実践、体験活動の充実、読書活動の推進

キ 健やかな体の育成

体力の向上に関する指導の充実、運動の習慣化、「ラグビーのまち釜石」に根差した活動、健

康の保持増進に努める意識の向上、感染症等への理解・予防の取組、健康教育の推進、食育指導の充実

ク 特別支援教育の充実

特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的支援・対応、支援が必要な子どもの実態把握と共通理解及び指導・支援の充実、個別の指導計画及び支援計画の作成・活用、地域・保護者へのインクルーシブ教育の理解促進、通常の学級における合理的配慮の充実

ケ キャリア教育の推進

発達段階を踏まえた指導、キャリアパスポートの活用、釜石オープンフィールドカレッジ推進事業

コ 幼保小の連携及び校種間連携の充実

早期からの就学支援の充実、子どもの発達や学びの連続性を意識した幼保小接続の取組、校種間連携における学びの連続性を大切にしたい取組、架け橋期のカリキュラムの開発・実践

サ 教職員の働き方改革の推進

釜石市立学校における教職員の働き方改革プランに基づいた働き方改革の推進、多忙化の解消

シ 郷土理解を深め、郷土への誇りと愛着を育む活動

当市の特色を生かした学びを通し、郷土への誇りと愛着を育み、ふるさとを大切に思う心の育成、「鉄」を生かした「鉄の学習」、ラグビーの取組、郷土芸能の伝承、地元産業の理解

ス 学びの環境整備

学校図書館の充実、教材備品の計画的な整備、ICT環境整備、通学路の安全点検の実施、学校施設の修繕・補修、学校トイレの洋式化、特別教室へのエアコン設置

(4) その他

ア 学校規模の適正化・適正配置の推進

基本方針に基づく推進計画の策定、推進計画の策定における関係者・地域・保護者への説明、推進計画に基づく学校統廃合の推進

イ 部活動の地域移行の取組

部活動指導員の設置、関係者との地域移行に関わる協議及び地域移行の推進

ウ 文化財の保存・活用

「釜石市文化財保存活用地域計画」による計画的・継続的な文化財等の保存及び活用、鉄づくり体験事業の実施、郷土芸能祭の開催、橋野高炉跡及び屋形遺跡の発掘調査、各種文化財の調査、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭事業」世界遺産登録10周年記念事業

(4) 関係事業一覧

区分	No	事業名	年 月 日	曜	会 場	趣 旨	
会議等	1	校長・園長会議	第1回	R7. 4. 8	火	第7会議室	学校・園経営上の諸問題について協議し、調和と統一のある教育課程の編成・実施と、特色のある学校・園経営の推進に資する。
			第2回	R7. 6. 23	月	教育委員会 会議室	
			第3回	R7. 8. 22	金		
			第4回	R7. 10. 7	火		
			第5回	R7. 11. 19	水		
			第6回	R8. 2. 17	火		

	2	副校長会議		R7. 4. 30	水	第7会議室	学校経営上の諸問題について、学校長を補佐する立場から協議し、学校経営の充実に資する。
	3	教務主任会議		R8. 2. 24	火	教育委員会 会議室	学校教育目標の具現化を目指した教育課程の編成及びその効果的・効率的な実施の在り方等について協議し、望ましい教務運営に資する。
	4	釜石市いじめ問題 対策連絡協議会	第1回	R7. 7. 7	月	教育委員会 会議室	関係機関等が児童生徒のいじめに関する課題意識を共有し、いじめの未然防止と早期解決に資する。
第2回			R7. 11. 25	火			
第3回			R8. 2. 27	金			
	5	アレルギー疾患対応委員会		R7. 9. 8	月	教育委員会 会議室	関係機関等がアレルギー疾患のある児童生徒への対応の在り方について共有する。
	6	かまいし絆会議 ～未来への第一歩～	第2回	R7. 8. 5	火	市民ホール	各小・中学校の代表児童生徒が地域のために何ができるかを仲間と考え、実践する中で、将来の釜石市を担うリーダーとしての資質・能力の育成に資する。
			第1回	R8. 2. 13	金	釜石 PIT	
	7	かまいし絆会議 専門部会	第2回	R7. 7. 15	火	第7会議室	
			第1回	R8. 1. 19	月	教育委員会 会議室	
	8	かまいし絆会議担当者 説明会		R7. 5. 27	火	オンライン	
	9	労働安全衛生委員会	第1回	R7. 8. 29	金	教育委員会 会議室	市内小・中学校教職員の業務の適正化を図るための方策を検討し、教職員が子どもに向き合う時間を確保し、教育の充実に資する。
			第2回	R8. 1. 23	金		
II 研修会	10	教育講演会		R8. 1. 9	金	市民ホール	講演を通し、市内教職員の資質の向上に資する。
	11	市初任者研修会		R7. 4. 10	木	鶴住居地区生 活応援センタ ー/いのちをつなぐ未来館	実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させることを通して、指導力の向上に資する。
	12	新任着任研修会		R7. 4. 10	木		本市に着任する教員が、本市の歴史や文化、重点施策等を理解することにより、その後の教育活動の充実に資する。
	13	デジタル教科書（英語） 活用研修会		R7. 4. 17	木	釜石東中学校	デジタル教科書の効果的な活用について理解を図り、授業改善に生かす。
				R7. 4. 21	月		
14	生徒指導主事研修会		R7. 4. 18	金	第7会議室	市内各校の生徒指導上の課題を通して、校内における組織的指導・支援体制の在り方等について理解を図り、生徒指導の充実に資する。	

	15	新任研究主任研修会	R7. 4. 22	火	第7会議室	各校における校内研究の充実に資する。	
	16	研究主任研修会	R7. 12. 1	月	第7会議室		
	17	幼保小連携研修会	R7. 10. 1	水	市内小学校	就学前の教育・保育から小学校教育の円滑な接続について共通理解を図る。	
III 教育研究所	18	運営委員会	第1回	R7. 4. 21	月	教育委員会 会議室	当市の教育課題の解決やこれからの学校教育に求められる研究を行う機関としての役割を踏まえ、研究活動の在り方等について協議し、教育研究所の研究推進の充実に資する。
			第2回	R7. 7. 14	月	オンライン	
			第3回	R7. 10. 29	水	教育委員会 会議室	
			第4回	R8. 1. 26	月		
	19	全体会・部会	第1回	R7. 5. 8	木	第7会議室	
			第2回	R7. 10. 29	水	教育委員会 会議室	
			第3回	R8. 1. 26	月	教育委員会 会議室	
20	研究発表大会・教育講演会	R8. 1. 9	金	市民ホール	教育研究所及び市内各幼児施設・小・中学校における教育研究の成果を発表し合うことにより、本市における学校教育の充実・向上に資する。		
IV 実践交流	21	中学校区授業実践交流会	R7. 11. 27	木	各中学校区	各中学校区における教育実践の活性化を図るとともに、児童生徒一人ひとりに確かな学力の育成に資する。	
V 学校訪問	22	学校訪問	R7. 6. 27	金	釜石小学校	学校の経営上の諸問題について協議するとともに、事務処理の状況を把握し、円滑な学校運営の推進に資する。	
R7. 7. 8			火	甲子中学校			
VI 就学・教育支援関係	23	教育支援委員会	第1回	R7. 4. 24	木	第7会議室	当市の就学及び教育支援に関する課題について協議し、障がいのある児童生徒の適正な教育支援の推進に資する。
			第2回	R7. 9. 25	木	教育委員会 会議室	
			第3回	R7. 11. 13	木		
			第4回	R8. 2. 5	木		
	24	釜石市巡回相談員 会議	第1回	R7. 4. 24	木	第7会議室	障がいに関する対応等について教員への相談にあたりとともに、指導内容及び方法についての指導・助言を行うことにより、個に応じた支援の充実に資する。
			第2回	R7. 9. 4	木	教育委員会 会議室	
			第3回	R7. 11. 5	水		
第4回			R8. 1. 21	水			
25	教育支援担当者説明会兼 特別支援教育研修会	R7. 5. 12	月	第7会議室	就学及び教育支援の進め方について共通理解を図り、各校での支援の充実に資する。		

VII その他	26	特別支援教育支援員等研修会	R7. 6. 26	木	教育委員会 会議室	特別支援教育支援の進め方について、より具体的な支援方法等を研修し、支援の充実に資する。
	27	スクールガード等情報交換会 (副校長会議)	R7. 4. 30	水	第7会議室	地域ぐるみの安全整備体制の整備を通して、児童生徒の安全な生活に資する。
	28	釜石市・大館市児童生徒交流事業	R8. 2. 13	金	釜石 PIT	交流を通して互いのよさを学び合い、より良い学校や地域づくりをしようとする意識の向上に資する。
	29	釜石市・北九州市児童生徒防災交流事業			甲子小学校 (オンライン)	交流を通して互いのよさを学び合い、より良い学校や地域づくりをしようとする意識の向上に資する。
	30	釜石市・東海市小学生交流事業	R7. 8. 26	火	鵜住居小学校	交流を通して互いのよさを学び合い、より良い学校や地域づくりをしようとする意識の向上に資する。
	31	釜石市・青森市平和交流事業	R7. 7. 27~29 R7. 8. 9		青森市 釜石市	青森市・釜石市の中学生が相互に訪問して交流することを通して、平和や防災対策の大切さについて学ぶ。
	32	釜石市・朝日町交流事業			甲子中学校 (オンライン)	交流を通して互いのよさを学び合い、より良い学校や地域づくりをしようとする意識の向上に資する。

2 市立学校一覧

(1) 幼稚園・小学校・中学校

令和7年4月1日現在

幼稚園名	園長名	所在地	電話番号	ファックス番号
鵜住居	磯田 育子	鵜住居町13-103-1	28-1733	28-1733

令和7年4月1日現在

小学校名	校長名	所在地	電話番号	ファックス番号
釜石	五安城 正敏	大渡町3-14-8	22-3513	22-2845
双葉	市村 かおり	新町1-58	23-5119	23-5129
白山	鈴木 慎	嬉石町3-6-1	22-3834	22-3850
平田	佐守 直人	平田町2-102	26-5230	26-5248
小佐野	松本 孝嗣	小佐野町3-5-37	23-5539	23-5540

甲子	細田多聞	甲子町9-87	23-5525	23-5520
鶉住居	高橋美友紀	鶉住居町13-20-3	28-3705	28-3706
栗林	高橋昭英	栗林町16-46	28-2517	28-2503
唐丹	戸羽太一	唐丹町字小白浜314	55-2105	55-2107

令和7年4月1日現在

中学校名	校長名	所在地	電話番号	ファックス番号
釜石	佐々木一成	中妻町1-6-8	23-5523	25-1340
甲子	山蔭深思	甲子町9-156	23-6520	23-6508
釜石東	高橋晃一	鶉住居町13-20-3	28-3010	28-2839
唐丹	金野学	唐丹町字小白浜314	55-2106	55-2667
大平	高橋信昌	大平町3-6-1	22-4158	22-4157

(2) 園児・児童・生徒数の推移

幼稚園名	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
鶉住居	12	13	9	5	4
計	12	13	9	5	4

資料：学校基本調査（各年5月1日現在）

小学校名	令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
	学級数	児童数								
釜石	8	108	8	92	8	86	8	80	8	68
双葉	7	147	7	135	8	130	8	119	8	104
白山	4	34	4	30	4	32	4	31	3	33
平田	7	153	8	148	8	160	9	143	8	42
小佐野	15	323	15	288	15	285	16	283	14	250
甲子	14	256	14	248	14	249	12	225	12	226
鶉住居	8	146	8	140	8	147	8	143	8	129
栗林	5	39	5	33	6	31	5	30	3	25
唐丹	6	57	6	56	6	53	5	44	6	38
計	74	1,263	75	1,170	77	1,173	75	1,098	70	1,015

資料：学校基本調査（各年5月1日現在）

中学校名	令和3年		令和4年		令和5年度		令和6年		令和7年	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
釜石	12	308	13	323	12	289	13	295	12	284
甲子	9	122	9	129	8	128	8	124	6	112
釜石東	5	97	6	101	4	83	5	85	5	86
唐丹	2	16	3	20	3	22	3	31	3	27
大平	5	106	5	101	4	81	4	81	5	75
計	33	649	36	674	31	603	33	616	31	584

資料：学校基本調査（各年5月1日現在）

(3) 学年別園児・児童・生徒数

令和7年5月1日現在

幼稚園名	3歳	4歳	5歳	計
鶉住居	2	0	2	4

令和7年5月1日現在

小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
釜石	9	14	11	13	11	10	68
双葉	13	16	17	19	19	20	104
白山	3	3	6	7	4	10	33
平田	24	24	30	20	23	21	142
小佐野	34	38	39	35	60	44	250
甲子	34	31	42	41	37	41	226
鶉住居	15	22	26	21	28	17	129
栗林	3	3	5	4	5	5	25
唐丹	5	4	4	8	10	7	38
計	140	155	180	168	197	175	1,015

令和7年5月1日現在

中学校名	1年	2年	3年	計
釜石	110	92	82	284
甲子	33	39	40	112
釜石東	33	30	23	86
唐丹	8	11	8	27
大平	23	34	18	75
計	207	206	171	584

(4) 施設の現況

ア 幼稚園

園名	校地面積	園舎面積	屋内運動場面積	プール水面積	耐震ランク
鵜住居	5,958	585	—	—	新耐震基準

イ 小学校

学校名	校地面積	校舎面積	屋内運動場面積	プール水面積	普通教室数	特別教室数	耐震ランク
釜石	12,109	2,967	700	250	8	6	A
双葉	12,837	4,941	720	320	8	7	新耐震基準
白山	17,579	2,388	831	320	4	6	A
平田	11,240	3,336	919	350	8	7	新耐震基準
小佐野	16,110	4,512	1,248	400	14	7	新耐震基準
学校名	校地面積	校舎面積	屋内運動場面積	プール水面積	普通教室数	特別教室数	耐震ランク
甲子	12,711	3,794	1,102	350	13	7	新耐震基準
鵜住居	39,271	3,780	901	400	8	7	新耐震基準
栗林	8,035	1,410	700	320	6	7	A
唐丹	11,604	2,416	659	180	6	7	新耐震基準
合計	90,621	23,348	6,220	2,310	75	61	

ウ 中学校

学校名	校地面積	校舎面積	屋内運動場面積	プール水面積	普通教室数	特別教室数	耐震ランク
釜石	17,596	6,391	1,556	—	9	8	新耐震基準
甲子	16,826	3,289	1,237	—	7	7	新耐震基準
釜石東	37,731	3,477	863	—	4	7	新耐震基準
唐丹	9,118	1,951	517	—	3	7	新耐震基準
大平	14,947	3,715	918	—	4	7	A
合計	49,369	13,395	3,711	—	28	36	

※釜石中学校は、屋内運動場に格技室423㎡を含む。

※耐震ランク 新耐震基準 昭和56年6月1日に改正された現在の耐震設計基準で作られています。

A Is 値が、0.6以上のもの（耐震改修促進法において「地震の震動及び衝撃に対し倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」とされています。）

B Is 値が、0.3以上～0.6未満のもの

C Is 値が、0.3未満のもの

3 市内県立学校一覧

令和7年4月1日現在

学校名	校長名	所在地	電話番号	ファックス番号
釜石高等学校	田 鎖 伸 也	甲子町10-614-1	23-5317	23-7783
釜石高等学校定時制				
釜石商工高等学校	小 松 了	大平町3-2-1	22-3030	31-1533
釜石祥雲支援学校 小・中学部 高等部	安 達 史 枝	平田町3-1700	26-6020	36-1911

4 中学校卒業生の進路状況

項目		卒業年月	令和3年 3月	令和4年 3月	令和5年 3月	令和6年 3月	令和7年 3月
		進 学 者	県内高等 学校本科	公立全日制	204	178	200
公立定時制	6			2	2	3	7
通信制	1			5	3	7	5
私立	21			17	18	13	14
小計	232			202	223	185	218
県外高等 学校本科	公立全日制		1	0	2	0	1
	公立定時制		0	0	0	0	0
	通信制		0	0	3	0	1
	私立		1	4	5	10	8
	小計		2	4	10	10	10
高等学校 本科合計	公立全日制		205	178	202	162	193
	公立定時制		6	2	2	3	7
	通信制		1	5	6	7	6
	私立		22	21	23	23	22
	合計		234	206	233	195	228
高等専門 学校合計	一関高専		3	2	2	1	4
	県外高専		0	1	1	0	1
	合計		3	3	3	1	5
特別支援 学校高等 部合計	県内		7	2	3	0	0
	県外	0	0	0	0	0	
	合計	7	2	3	0	0	
高等学校進学者の総合計			244	211	239	196	233
非進学者総合計			0	1	3	0	1
卒業生総数			244	211	242	196	234

5 学校保健

(1) 令和7年度 児童生徒健康診断

◎健診・検査項目及び対象学年

- ・内科検診（全学年） ・歯科検診（全学年）
- ・眼科検診（全学年） ・耳鼻科検診（全学年・学年指定校もあり）
- ・尿検査（小・中学校全学年） ・心臓検査（小学校1年生、中学校1年生）
- ・生活習慣病予防検査（小学校4年生、中学校1年生の希望者）
- ・貧血検査（中学校2年生の希望者） ・脊柱側弯検査（小学校5年生、中学校1年生）

(2) 令和7年度 学校医・学校歯科医・学校薬剤師

ア 幼稚園

令和7年4月1日現在

園名	内科医	眼科医	耳鼻科医	歯科医
鶉住居	藤丸 潔	堀 美知子	堀 晃	三浦 孝

イ 小学校

令和7年4月1日現在

学校名	内科医	眼科医	耳鼻科医	歯科医	薬剤師
釜石	釜石ファミリー クリニック	堀 美知子	堀 晃	及川 陽次	氏家 智香
双葉	小笠原 善郎	堀 美知子	堀 晃	福成 玄 遠 秀則	八木 章雄
白山	神林 敦彦	佐渡 一成	堀 晃	工藤 一貴	安藤 義一
平田	平野 春人	佐渡 一成	堀 晃	八重樫 祐成	大釋 里佳子
小佐野	小笠原 善郎	堀 美知子	堀 晃	福成 玄	瀬戸 由里香
甲子	せいいてつ 記念病院	佐渡 一成	堀 晃	工藤 一貴	松田 智行
鶉住居	濱登 文寿	堀 美知子	堀 晃	山崎 ひとみ	金野 宏美
栗林	道又 衛	堀 美知子	堀 晃	鈴木 勝	藤原 春香
唐丹	平野 春人	堀 美知子	堀 晃	八重樫 祐成	石田 昌玄

ウ 中学校

令和7年4月1日現在

学校名	内科医	眼科医	耳鼻科医	歯科医	薬剤師
釜石	釜石ファミリー クリニック	堀 美知子	堀 晃	山崎 ひとみ	袴田 達也
甲子	神林 敦彦	佐渡 一成	堀 晃	三浦 孝	佐藤 亮
釜石東	濱登 文寿	堀 美知子	堀 晃	早崎 行雄 鈴木 勝	金野 宏美
唐丹	平野 春人	堀 美知子	堀 晃	八重樫 祐成	石田 昌玄
大平	藤井 悠	佐渡 一成	堀 晃	及川 陽次	大釋 瞬

(3) 令和6年度 児童・生徒の体位調査

			小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
男	釜石市平均値	人数	80	85	85	96	80	106	108	76	121
		身長 (cm)	116.6	122.7	129.7	135.0	139.8	147.1	154.8	161.6	165.9
		体重 (kg)	22.3	24.9	29.7	33.4	38.0	42.8	46.4	55.5	57.4
	岩手県平均値	身長 (cm)	117.1	124.0	129.2	135.2	140.4	146.7	154.7	161.5	166.5
		体重 (kg)	22.3	25.9	29.3	33.1	36.6	41.1	47.0	51.6	56.5
	全国平均値	身長 (cm)	116.9	123.0	128.6	134.1	139.6	146.2	154.2	161.1	166.0
		体重 (kg)	21.6	24.5	27.8	31.4	35.3	39.9	45.8	50.6	54.9
	女	釜石市平均値	人数	76	100	83	103	96	103	101	91
身長 (cm)			116.3	122.7	128.9	133.2	141.5	148.0	152.5	154.9	156.6
体重 (kg)			22.1	24.5	27.6	31.6	37.1	43.3	46.3	48.3	50.9
岩手県平均値		身長 (cm)	116.9	122.9	128.4	135.0	142.0	147.9	152.3	155.2	156.7
		体重 (kg)	21.8	25.1	27.7	32.0	36.6	41.2	45.5	48.9	50.6
全国平均値		身長 (cm)	116.0	122.1	127.8	134.4	141.4	147.9	152.3	155.0	156.4
		体重 (kg)	21.2	24.0	27.0	31.0	35.3	40.2	44.5	47.6	49.8

資料：令和6年度釜石市学校保健実態調査結果

(4) 令和6年度 児童・生徒の疾病状況

区分	視力0.9未満		感染性眼疾患	アレルギー性眼疾患	その他の眼疾患	聴力異常	耳疾患	アレルギー性鼻疾患	その他の鼻・副鼻腔疾患	咽喉頭疾患	う歯	
	裸眼	矯正									処置完了	未処置
小	35.5	77.6	0.0	3.6	3.3	1.3	12.3	49.8	4.2	3.9	21.4	20.6
中	38.8	73.7	0.0	1.9	1.9	0.5	5.9	50.3	1.6	1.4	17.8	11.8

資料：令和6年度釜石市学校保健実態調査結果

6 釜石市教育研究所

(1) 基本方針

釜石市の学校教育の基本方針と重点目標及び教育実情をふまえ、当市の幼稚園・保育園・こども園・小・中学校の教育実践に資する活動を計画し、運営する。

また、当市の教育課題の解決やこれからの学校教育に求められる内容等について、研究・研修・相談活動を行うことにより、学校教育における教育成果の向上に寄与する。

(2) 運営方針

ア 学校・幼稚園等との連携を大切にした研究活動

当市の幼稚園・保育園・こども園・小・中学校及び教育研究団体との連携を図り、教育活動が行われる場との結びつきを緊密にする。

イ 教育活動の課題に応える研究と調査

学校教育をはじめ、社会・家庭教育の直面している課題に応えるものを積極的に研究・調査対象とし、課題の具体的な解明に努める。

ウ 資料収集と活用の充実

教育活動に係る資料の収集・活用の充実を図るとともに、教職員に関する研究実践上の相談及び研究成果の普及に努める。

エ 研究成果の活用

研究所の研究成果が各種研修会並びに当市の幼稚園・保育園・こども園・小・中学校の校内研究及び研修会の資料として活用されるように努める。

オ 子どもの健やかな育ちを目指す教育相談

- ① 教育相談室 関係機関と連携を図り、児童・生徒に関する教育相談等に努める。
- ② 教育支援教室 通級を中心として、児童・生徒に学校生活に適応できる力を育てる。
(若葉教室)

(3) 令和7年度の重点

ア 子どもとの信頼関係・心のつながりを視野においた、教師としての資質の向上

研究班・推進委員会の活動の中で、このことを常に意識した取組を行っていく。

イ 防災教育を核とした「いのちの教育」の充実と防災教育の手引きの活用

ウ 研究発表会の充実

研究発表会の目的や意義を明確にし、実りある発表会になるよう内容や運営面で創意工夫を行う。

エ 各研究班・推進委員会による主体的・協働的な取組による研究の充実

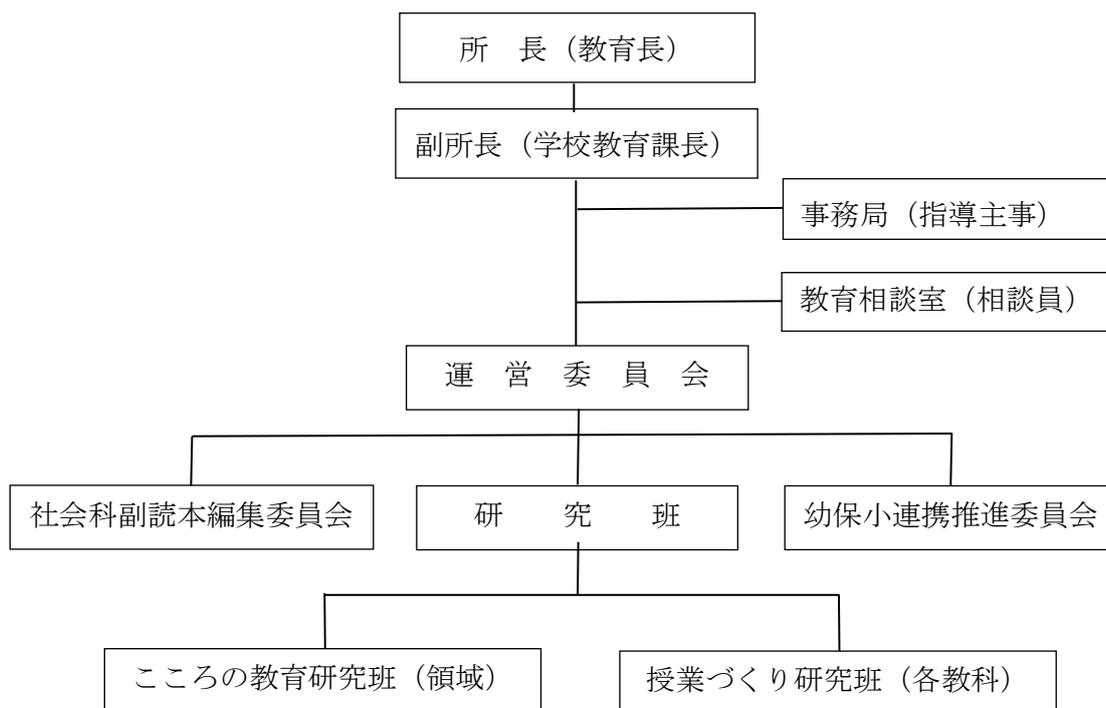
オ 教育相談室の充実

- ① 心身の不安や悩み、登校への不安等を抱える児童・生徒の援助及び指導のため、教育支援教室(若葉教室)を運営する。
- ② 児童・生徒の保護者からの悩みや相談を受け、適切な支援を行う。

カ 資料や一人一台端末の活用

これまで研究班等が作成した資料等の積極的な活用を図る。また、一人一台端末等、ICT機器についても積極的に活用していく。

(4) 教育研究所運営組織



7 学校給食



名 称	釜石市学校給食センター
所 在 地	釜石市鶴住居町第10地割30番地1
電話番号	0193-29-1271
構 造	鉄骨2階建
延床面積	2669.64㎡
対 象 校	小学校9校、中学校5校、 特別支援学校1校 計15校 釜石小、双葉小、白山小、平田小、 小佐野小、甲子小、唐丹小、栗林小、 鶴住居小 釜石中、甲子中、大平中、唐丹中、 釜石東中 釜石祥雲支援学校

(1) 沿革及び現況

学校給食センターは、当市の学校教育において長年の懸案事項であった全小学校の完全給食実施にあたり、調理場を集約し学校給食業務を効率的かつ能率的に処理することを目的として新設され、平成3年2月から供用を開始しています。

中学校給食は、生徒の健康増進を目的にミルク給食と併せて平成19年5月から選択制ランチサービス（弁当配送方式）を実施しておりました。しかし、東日本大震災において業者が被災し再開の目途が立たない状況であったため、震災後の児童生徒にバランスのとれた温かい給食を提供し、保護者の弁当作り等の負担軽減を図りたいとの思いから、新校舎の完成に合わせて鶴住居地区及び唐丹地区の仮設校舎に災害時の炊き出し機能を併せ持つ学校給食調理場を併設して、日本赤十字社等の支援により厨房設備及び消耗品を整備、学校給食センターにおいては、食器洗浄機等の大型設備機器の更新を行い、平成24年度からは市内小中学校全14校の完全給食を実施して参りました。しかしながら、開設から29年が経過し施設及び設備の老朽化が進む中で施設の敷地の賃貸借期限が平成32年7月であること、また、仮設である鶴住居地区の学校給食調理場の機能を集約する必要があることから、学校給食衛生管理基準に適合した新たな共同調理場を整備することとして、平成28年度において基本計画の策定及び事業手法の検討を行い、平成29年度から設計業務を実施、平成30年度建設工事に着手し、令和2年4月から現学校給食センターにおける給食供用開始をしております。

運営については、献立作成などの管理部門を除き、調理等業務に関しては簡易プロポーザル方式により業者を選定し、配送業務も民間に委託する等運営の効率化、合理化を図りながら安全で安心な学校給食の提供に努めております。

また、平成28年度まで給食物資の発注・支払業務については調理等委託業者に業務委託しておりましたが、学校給食に係る食材調達は、単に物資を購入することとは異なり食の安全・安心及び栄養管理に関する要素を含んでおり、献立作成と一貫した作業であること、地産地消としての地元生産品の直接購入においても事務の効率化が図られることから、給食物資の調達に関する業務は平成29年度から直接学校給食センターが行っております。

(2) 学校給食センター経営目標

学校給食センターでは、「働きがい」「学びがい」「生きがい」を生み出し、職場の活性化に努めながら、安定した経営を心がけています。

「食の安全」については、安全安心な食材の確保や衛生管理に十分な注意を払い、栄養バランスの良い安全でおいしい学校給食の提供に努めます。

また、O-157やノロウィルス等による食中毒を予防するため、釜石保健所の指導も得ながら、栄養士や調理員の安全衛生管理研修と実践の徹底、食材等の適正な温度管理、配送時の衛生的なコンテナの取扱いに努めます。

使用食材についても、安全な食材の選定と検収の強化、地場産農水産物の活用等、地産地消運動の推進も図りながら「食の安全」の確保に努めます。

「食育」については、児童・生徒一人ひとりが正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通して自らの健康管理ができるように、引き続き、学校・保護者・関係団体等と協力し、食育の推進に努めます。

学校給食センター運営方針

- ① 教職員及び保護者の方々、関係各団体等と連携し、食に関する指導等「食育」の充実に努めます。
- ② 釜石保健所等と連携を図りながら衛生的な環境づくりに努めます。
- ③ 情報提供及び情報発信に努めます。
- ④ 委託業者を含めた全職員の資質の向上に努めます。
- ⑤ 給食センター内でのコミュニケーションを密接にします。
- ⑥ 業務の改善・経費の節減・安全な労働環境づくりに努めます。

(3) 小中学校給食の概要

ア 給食形態

米飯給食 週3回（月・水・金）（年3回程度麺と併用）

パン給食 週2回（火・木）

イ 年間給食回数（上限）

小学校 177回 ・ 中学校 173回 ・ 特別支援学校は別途契約により決定する。

ウ 給食費

給食回数 （上限）	小 学 校		給食回数 （上限）	中 学 校	
	1食あたりの 単価	年間給食費		1食あたりの 単価	年間給食費
177回	282円	49,914円	173回	322円	55,706円

エ 給食センター事業

（ア）献立の募集

（イ）料理の食材や味付を自分や家族または友達と考えることや、家族とふれあいながら料理を作ることによって自然や食べ物への関心、食に関わる人々への感謝の心を育み、より良い食習慣を形成する意識を持たせることを目的に実施しています。

応募されたレシピは、運営委員会で審査を行い、入賞した作品の中から給食に取り入れられるものは、単品で1月～3月の献立に取り入れます。

（ウ）リクエスト給食

平成18年度から実施（令和元年度からは小学6年生と中学3年生対象のアンケートにより実施）

オ 運営組織

- ・ 釜石市学校給食センター運営委員会（委員数：20名以内 任期：2年）
委員構成は、小中学校の校長・小中学校のPTA会長・釜石保健所職員・学識経験

者・その他教育長が指名する者で、令和6年度の委員数は16名である。

※釜石市学校給食センター物資献立検討委員会 平成29年7月1日廃止

カ 給食対象人数等の推移

年度 学校名	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
釜石小学校	117	108	92	86	80
双葉小学校	151	147	135	130	119
白山小学校	37	34	32	32	31
平田小学校	148	153	148	160	143
小佐野小学校	309	323	288	285	283
甲子小学校	256	256	246	249	225
鵜住居小学校	144	146	140	147	143
栗林小学校	41	39	32	31	30
唐丹小学校	47	57	56	53	44
小 計	1,250	1,263	1,169	1,173	1,098
釜石中学校	318	308	319	289	295
甲子中学校	138	122	129	128	124
釜石東中学校	107	97	100	83	85
唐丹中学校	25	16	20	22	31
大平中学校	104	106	101	81	81
小 計	692	649	669	603	616
岩手県立釜石祥雲支援学校	—	—	—	48	44
小 計	—	—	—	48	44
合 計	1,942	1,912	1,838	1,824	1,758

資料：学校給食実施状況等調査（各年5月1日）

8 釜石市育英会

優秀な学生であって経済的な事由により修学の困難な者に対して、修学の機会を与え有用な人材を育成することを目的として、釜石市育英会を設置し学費の貸与、交通災害遺児に対する奨学資金の給付を行っている。

また、奨学生の追加募集（随時）及び奨学金の返還猶予を行っている。

(1) 釜石市育英会奨学生採用状況

年度	新規採用者数（人）			貸付額（円） （継続・新規）	返還猶予者数（人）
	高 校	大学等	計		
令和2年度	0	5	5	10,404,000	1
令和3年度	1	1	2	6,816,000	1
令和4年度	0	3	3	6,528,000	2
令和5年度	0	3	3	6,336,000	1
令和6年度	0	0	0	2,556,000	2

(2) 釜石市育英会奨学金上限額の推移

（単位：円）

年 度	高 校	大学等
昭和62～平成3年度	9,000	22,000
平成4～平成8年度	10,000	25,000
平成9～平成13年度	10,000	30,000
平成14～平成19年度	10,000	40,000
平成20年度～	16,000	45,000

(3) 交通災害遺児奨学資金給付状況

年度	給付者数（人）					給付額 （円）
	小学校	中学校	高等学校	大学等	計	
平成29年度	-	1	-	2	3	360,000
平成30年度～	-	-	-	-	-	0

※給付額：小学校入学 30,000円 中学校入学60,000円 高校入学 90,000円
大学入学 150,000円

(4) 釜石市育英会役員

(理事任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)

令和7年4月1日現在

役職	氏名	委嘱時期	備考
会長	小野 共	—	釜石市長
副会長	高橋 勝	—	釜石市教育委員会教育長
理事	生田 久美子	平成28年4月	学識経験者
理事	佐藤 順子	平成28年4月	学識経験者
理事	山田 裕子	令和6年4月	学識経験者
理事	千葉 愛子	令和4年4月	学識経験者
理事	小笠原 慎二	令和6年5月	釜石市PTA連合会会長
理事	金野 学	令和6年4月	唐丹中学校校長

9 学校統合

当市の児童・生徒数は、昭和30年代後半をピークに、社会・経済状況の変化による人口の流出、少子化の進展などにより大幅に減少し、そのことによる学校の小規模化に加え、施設の老朽化など、児童・生徒を取り巻く教育環境が大きく変化したことから、昭和60年代以降、学校規模の適正化や、学区の見直しなどの議論が継続して行われてきた。

平成6年には、教育長の諮問機関として「釜石市立学校の通学区域等検討委員会」を設置し、「市立小・中学校の適正な通学区域の設定等」についての答申を受けて、平成13年3月に「釜石市立小・中学校統合実施基本計画」を策定し、実施基本計画後期計画に基づき、平成22年3月末に学校統合による学校規模の適正化・適正配置を図った。

(1) 前期計画（平成13年度～17年度）の概要及び進捗状況

前期計画の概要		前期計画の進捗状況		
統合予定校	統合予定年月日	統合年月日	統合後の校名	統合後の学校の位置等
唐丹小学校 大石小学校	平成13年4月1日	平成13年4月1日	唐丹小学校	唐丹小学校
八雲小学校 中妻小学校	平成15年4月1日	平成14年4月1日	双葉小学校 (校名公募)	旧中妻小学校跡地に 校舎を新築整備
釜石小学校 大渡小学校	平成15年4月1日	平成15年4月1日	釜石小学校 (校名公募)	旧大渡小学校
小佐野小学校 小川小学校	平成17年4月1日	平成17年4月1日	小佐野小学校 (校名公募)	旧小佐野小学校
釜石第一中学校 釜石第二中学校 小佐野中学校	平成17年4月1日	平成18年4月1日	釜石中学校 (校名公募)	旧八雲小学校跡地に 校舎を新築整備

(2) 後期計画（平成18年度～22年度）の概要及び進捗状況

後期計画の概要		後期計画の進捗状況		
統合予定校	統合予定年月日	統合年月日	統合後の校名	統合後の学校の位置等
鵜住居小学校 箱崎小学校	平成19年4月1日	平成19年4月1日	鵜住居小学校	鵜住居小学校
甲子小学校 大松小学校	平成19年4月1日	平成19年4月1日	甲子小学校	甲子小学校
釜石東中学校 橋野中学校	平成19年4月1日	平成19年4月1日	釜石東中学校	釜石東中学校
鵜住居小学校 白浜小学校	後期計画期間中 に統合する	平成22年4月1日	鵜住居小学校	鵜住居小学校
平田小学校 尾崎小学校	後期計画期間中 に統合する	平成22年4月1日	平田小学校	平田小学校
栗林小学校 橋野小学校	後期計画期間中 に検討を行う	平成22年4月1日	栗林小学校	栗林小学校

(3) 統合対象校の統合前後の児童・生徒数及び学級数

単位：級、人

統合前の状況			統合後の状況		
学校名	学級数	児童・生徒数	学校名	学級数	児童・生徒数
唐丹小学校	7	134	唐丹小学校	7	130
大石小学校	2	7			
八雲小学校	7	177	双葉小学校	13	330
中妻小学校	7	148			
釜石小学校	8	202	釜石小学校	10	255
大渡小学校	7	65			
小佐野小学校	14	326	小佐野小学校	14	410
小川小学校	7	78			
釜石第一中学校	7	134	釜石中学校	15	460
釜石第二中学校	5	122			
小佐野中学校	9	211			
鵜住居小学校	13	339	鵜住居小学校	13	367
箱崎小学校	4	27			
甲子小学校	11	260	甲子小学校	12	305
大松小学校	3	16			
釜石東中学校	7	218	釜石東中学校	7	237
橋野中学校	3	15			
鵜住居小学校	12	323	鵜住居小学校	13	361
白浜小学校	3	26			
平田小学校	9	212	平田小学校	8	214
尾崎小学校	3	19			
栗林小学校	4	27	栗林小学校	4	30
橋野小学校	2	3			

(4) 小・中学校数の推移

単位：校

年 度	12年度	13年度	14年度	15年度	17年度	18年度	19年度	21年度	22年度
小学校数	18	17	16	15	14	14	12	12	9
中学校数	8	8	8	8	8	6	5	5	5

10 学校規模適正化

近年、全国的に人口減少と少子化が急激に進行しており、当市においても人口減少に歯止めがかからず、令和5年11月には人口が30,000人を下回った。市内の児童生徒数も減少し続けており、今後さらに小・中学校の小規模校化が進むと予測されている。このような背景の下、令和3年3月に「釜石市学校規模適正化検討委員会」を設置し、学校規模等の教育環境をどのように考え整備することが望ましいかについて議論を重ね、令和4年11月に学校規模の適正化・適正配置に関する提言をまとめた。

この提言を受け、釜石市教育委員会は、子どもたちの「強く生き抜く力」を育成するために、学校規模の適正化・適正配置の手法、基本的な考え方、学校規模の基準などを盛り込んだ「釜石市立小・中学校における学校規模の適正化・適正配置基本方針」を令和6年3月に策定した。

基本方針を具現化し、学校規模の適正化・適正配置に取り組むための具体的計画を策定するため、令和6年8月に「釜石市学校規模適正化・適正配置推進計画策定委員会」を設置した。また、学校規模の適正化・適正配置についての基本方針を保護者や地域、市民の皆様に説明し理解を図るとともに、そこで出された意見等を参考にしながら、令和7年度中上半期での「釜石市学校規模適正化・適正配置推進計画」の策定に向け取り組んでいる。

